

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2025
 (会場:新国立劇場オペラパレス)

ジャコモ・プッチーニ
「蝶々夫人」
【全2幕＜イタリア語上演／日本語及び英語字幕付＞】
2025 年 7 月 7 日(月) 8 日(火) 9 日(水) 10 日(木) 11 日(金) 12 日(土)
全 6 回公演 全日 13:00 開演 新国立劇場オペラパレス
全席指定 高校生及び引率教員【学校団体】2,750 円

※残席がある公演日に限り前売販売:高校生以下 2,750 円／一般(大人)6,600 円

高校生以下発売日:2025 年 6 月 8 日(日)／一般発売日(大人):2025 年 6 月 22 日(日)
オペラパレスで体験する「本物の感動」

新国立劇場「高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、現代舞台芸術の一層の普及を目指す新国立劇場が、次の世代を担う青少年に向け優れた舞台芸術を提供する機会として 1998 年(平成 10 年)より開催している事業です。「初めてのオペラ鑑賞だからこそ、本物のオペラを体験していただきたい」という願いを込めて、演出、舞台美術、衣裳など本公演と全く同じプロダクションを上演。日本を代表するオペラ歌手が出演し、生のオーケストラ演奏で上演しています。高校生を学生扱いせず、一般のお客様と全く同じスタイルで名作オペラを全曲鑑賞していただくというコンセプトが大変好評をいただいております。

『蝶々夫人』はオペラ鑑賞教室で最も上演回数の多い作品で、これまでに、東京公演で 11 回、関西公演で 7 回上演されています。長崎を舞台に、アメリカ海軍士官の夫・ピンカートンへの一途な愛を貫く蝶々さんの悲劇を描いたオペラは、初めてオペラを鑑賞する高校生にも深い共感を呼びます。栗山民也の演出は、死をもって愛を貫いた蝶々さんの想いをシンプルながらスケールの大きな舞台で描くものです。人物の内面を鮮やかに描写する演出が、多感な高校生の想像力を大いに刺激すると好評を博しています。



高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』2011 年公演より

助成： 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション
協賛： ローム株式会社 損保ジャパン

新国立劇場「高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、常松美登里子様からのご寄附を活用して行う公演事業です。

＜写真、資料のご請求、ご取材のお問い合わせ＞

新国立劇場制作部 オペラ広報 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/ e-mail:takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

■新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室

新国立劇場は、次の世代を担う青少年に優れた芸術を鑑賞する機会を提供するため、1998 年度より 25 年以上にわたり「高校生のためのオペラ鑑賞教室」を開催しています。新国立劇場がシーズン公演として上演している世界水準のオペラ公演と全く同じプロダクションを、低価格で高校生に鑑賞していただいております。

本鑑賞教室には、国内を代表するオペラ歌手とオーケストラが出演し、通常公演と同じ全幕上演でお届けします。マイクを使わない生の歌声、迫真の演技、大迫力の演奏、豪華な舞台セット等、最高水準のオペラが持つ様々な魅力に、多くの高校生から感動の声が寄せられています。



高校生のためのオペラ鑑賞教室 会場風景

2025 年は新国立劇場のオペラ鑑賞教室で最も上演回数が多い作品、プッチーニ作曲『蝶々夫人』を上演いたします。長崎を舞台に、高校生と同年代の日本女性・蝶々さんの一途な愛を貫いた悲劇を描いたオペラは、初めてオペラを鑑賞する高校生にも深い感動を呼びます。栗山民也のシンプルながらスケールの大きな舞台を描く演出は、人物の内面を鮮やかに描写し、多感な高校生の想像力を大いに刺激します。一生の記念となるオペラ体験になることでしょう。

鑑賞教室にご来場いただいた高校生のインタビュー動画 <https://www.youtube.com/watch?v=4Jm4MRfhCe4>

■2022 年鑑賞教室『蝶々夫人』アンケートより

2022 年(プッチーニ作曲『蝶々夫人』を上演)のアンケート結果によると、オペラ初鑑賞の高校生は全体の約8割(78.0%)を占め、多くの高校生が鑑賞後に「とても良かった／面白かった」「良かった」と回答がありました。また、公演の良かったところとして1位「音楽」、2位「物語の内容」、3位「舞台装置・衣裳」と続いています。次の世代を担う青少年に向け優れた舞台芸術を提供することができたと判断しています。参加する学校も年々増え、毎年首都圏の約 50 校以上が鑑賞教室を体験しています。

【高校生の感想(アンケートより一部抜粋)】

- ◆蝶々夫人の悲しみが強く表現されていて、心打たれた。照明や音楽と演技がマッチしていた
- ◆歌詞を見ながら、感動移入して見ることができ、とても感動しました
- ◆歌を聞いて、鳥肌が止まらなかった。オーケストラの生演奏も素敵で時間があっという間に流れた
- ◆すごく圧倒されました。お話に引き込まれ、特に最後悲しくて涙がでそうでした。また機会があったら、見に行きたいです
- ◆オペラは西洋っぽいイメージがあったので、着物を着てやっているのが新鮮だった。歌声や音楽に迫力があってすごかった
- ◆蝶々夫人の切ない感情がひしひしと伝わってきて、とても感情移入することができました
- ◆恋愛の物語で、まだ上手に理解出来ない所もあったけれど、ひきつけられるものが多く、面白かった
- ◆歌が演奏に負けにくいほどの迫力で、本当に鳥肌がたちました。演奏(オーケストラ)についての興味もあったので、すごく楽しかったです
- ◆蝶々夫人の真っ直ぐなピンカートンへの愛が、観客である私たちにも伝わってきました。壮大な音楽の元、心を震わせるような登場人物たちの歌声が大きな感動を呼びました
- ◆演者さんが下を向いても隠れても、声のボリュームが変わらないことが、かつよかった。「ある晴れた日に」を生で聴けて感動!!
- ◆正直、噂で面白くないと聞いていたが、想像をはるかに超えて、とてもおもしろかったです! 私は光の演出にとっても関心を持ちました
- ◆オーケストラにも演者さんの歌にも圧倒されました。もともと将来は音楽に関わる仕事がしたいと思っていたので、いい経験になりました
- ◆悲しいお話でしたが、演者の動きや照明でたくみに蝶々夫人の心が表されていて感情移入がしやすかったです
- ◆とても、はかない物語だと感じた。とてもおもしろくて、2 時間以上あったはずの時間が一瞬で過ぎるくらい熱中できた
- ◆話の内容がいかにも人間らしくて面白かったです。動きまで徹底されていて、歌がイタリア語なのに全く違和感が無かったです
- ◆生演奏の音楽にも負けていない声量で言葉を発せられていて、見応えだけでなく、聞き応えがありました
- ◆オペラなのに着物を着ていたのが驚きました。ですが、花びらを使ったり、日本を感じる舞台の演出がすてきだと感じました
- ◆ラストのシーンが演者さんはもちろん、照明や音楽も相まってとても印象的でした。プログラムにあったように、当時の日本への考え方など、様々な視点で見ることができて楽しかったです

- ◆オーケストラの迫力と演者の方々の演技に感動しました。授業で別のオペラを鑑賞したのですが、生で見聞きすると良い意味で裏切られました。とても有意義な時間をありがとうございました
- ◆生演奏と映像はやはり全く違うなあと思った。直に鼓膜を揺らしてくる感動を忘れたくない
- ◆影にうつる姿で感情を読みとれるくらいきれいだった。最後の追い込む迫力がすごかった
- ◆物語の内容も分かりやすく、楽しむことができた。音楽も和風のものがあ、日本らしさをとところどころに感じることができた。歌や動きで感情の変化が変わっていて、おもしろかった
- ◆今回オペラを見るのは初めてだったので、日本の文化も反映した、興味深い作品でした。出演者の方々の歌や、音楽も、内容も素敵で、オペラをととても楽しむことができました

■『蝶々夫人』 あらすじ

明治の頃、長崎の海を望む丘。アメリカ海軍士官のピンカートンは、結婚幹旋人ゴローの仲介で 15 歳の芸者、蝶々さんを身請けし、アメリカ領事シャープレスの忠告をよそに軽い気持ちで結婚式を挙げる。ピンカートンは帰国するが、愛を信じて疑わぬ蝶々さんは音信不通の夫の帰りを、3 歳になった息子と女中のスズキとともに待つ。やがてアメリカで正式に結婚したピンカートンが妻ケートを連れて長崎に。全てを悟った蝶々さんは、我が子をケートに託し、父の形見の短刀で命を絶つ。



高校生のためのオペラ鑑賞教室
『蝶々夫人』2011 年公演より

『蝶々夫人』ダイジェスト映像 <https://www.youtube.com/watch?v=EMeOE0aDMi0>

■プロフィール

【指揮】城谷正博

JOYA Masahiro

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院指揮専攻修了。98 年より新国立劇場の公演に参加する。古典から近現代に到るまで 90 作品を超える幅広いオペラレパートリーを持ち、特にワーグナーはその中心を占めており主要 10 作品をすべてレパートリーに持つ。21 年 3 月『ワルキューレ』(最終公演)、同年 10 月 21/22 シーズン開幕公演『チェネントラ』を指揮したほか、高校生のためのオペラ鑑賞教室では多くの作品を指揮している。ワーグナー演奏団体「わ」の会代表。新国立劇場オペラ音楽ヘッドコーチ。



【演出】栗山民也

KURIYAMA Tamiya

早稲田大学文学部演劇学科卒業。主な演出作品に『GHETTO/ゲットー』『きらめく星座』『海をゆく者』『組曲虐殺』『スリル・ミー』『ピアフ』『藪原検校』『アルカディア』『ディスグレイスト 恥辱』『デス・ノート The Musical』『アンチゴーン』『母と暮らせば』『ゲルニカ』『海をゆく者』『オーランド』などがある。紀伊國屋演劇賞個人賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞、芸術選奨文部大臣新人賞、毎日芸術賞、千田是也賞、朝日舞台芸術賞、芸術選奨文部科学大臣賞、菊田一夫演劇大賞などを受賞。紫綬褒章、旭日小綬章受章。新国立劇場では、『今宵限りは…』『ブッダ』『キーン』『夜への長い旅路』『欲望という名の電車』『ピカドン・キジムナー』『夢の裂け目』『ワーニャおじさん』『櫻の園』『浮標』『涙の谷、銀河の丘』『夢の泪』『世阿弥』『胎内』『喪服の似合うエレクトラ』『箱根強羅ホテル』『母・肝っ玉とその子どもたち』『夢の痂』『CLEANSKINS/きれいな肌』『氷屋来たる』『まほろば』『雨』『マニラ瑞穂記』『あわれ彼女は娼婦』『トロイ戦争は起こらない』、オペラ『夕鶴』『蝶々夫人』を演出。2000 年から 7 シーズン新国立劇場演劇芸術監督を務め、05 年から 16 年 3 月まで新国立劇場演劇研修所初代所長を務めた。



【蝶々夫人】伊藤 晴

ITO Hare 〈7 月 7 日・9 日・11 日〉

三重大学卒業、武蔵野音楽大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第 25 期生修了。ミラノ、パリで研鑽を積み、13 年パリ地方音楽院修了。第 9 回藤沢オペラコンクール第 2 位。小澤征爾音楽塾子どものためのオペラ『子どもと魔法』『ジャンニ・スキッキ』などに出演。藤原歌劇団には『ラ・ボエーム』『ムゼッタ』でデビューし、『カルメン』『ラ・トラヴィアータ』『愛の妙薬』『ラ・ボエーム』を東京・愛知公演で熱演。藤原歌劇団・NISSAY OPERA 2021『蝶々夫人』ではタイトルロールを務め、その後同役は各地で公演を重ね、絶賛を浴びた。24 年には藤原歌劇団・NISSAY OPERA 2024『ピア・デ・トロメイ』ピアが称賛を集める。また日本オペラ協会には『天守物語』亀姫でデビューし、『夕鶴』つうも見事に演じた。新国立劇場では『修道女アンジェリカ』オスミナ、『こもりイーダ』『夢遊病の女』リーザ、『カルメン』ミカエラに出演。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。愛知県立芸術大学、武蔵野音楽大学各講師。



【蝶々夫人】鈴木麻里子

SUZUKI Mariko 〈7 月 8 日・10 日・12 日〉

東京音楽大学声楽専攻声楽演奏家コース卒業、同大学院声楽専攻オペラ研究領域修了。第 26 回奏楽堂日本歌曲コンクール第 2 位。第 49 回日伊声楽コンクール入選。日生劇場『魔笛』夜の女王でオペラデビュー。これまでに、二期会 70 周年記念公演『パルジファル』『ジャンニ・スキッキ』『修道女アンジェリカ』のほか、『トゥーランドット』タイトルロール、『アイダ』タイトルロール、『椿姫』『ヴィオレッタ』などに出演。群馬交響楽団創立 70 周年記念オペラ『蝶々夫人』ではタイトルロールを務め、好評を博す。文化庁巡回公演にて全国各地の学校での演奏や、台東区等が主催する「0歳からのコンサート」など、幅広く活躍。二期会会員。新国立劇場初登場。



【ピンカートン】 村上公太**MURAKAMI Kota〈7月7日・9日・11日〉**

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。新国立劇場オペラ研修所第6期修了。文化庁在外派遣研修員としてボローニャへ留学。イタリア・トラパニにて行われたジュゼッペ・ディ・ステファノ国際コンクールにおいてリゴレットのマントヴァ公爵役を獲得し出演。新国立劇場では『ジャンニ・スキッキ』『リヌッチョ』『蝶々夫人』ピンカートン、『こもり』アルフレード、『ファルスタッフ』フェントン、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』クンツ・フォーゲルゲザング、『夏の夜の夢』ライサンダー、高校生のためのオペラ鑑賞教室『トスカ』カヴァラドッシ、同『カルメン』ドン・ホセなどに出演。23年NHK交響楽団「第九」にてソリストを務める。25/26シーズン『ウェルテル』シュミットに出演予定。二期会会員。

**【ピンカートン】 城 宏憲****JO Hironori 〈7月8日・10日・12日〉**

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所第10期修了。文化庁新進芸術家海外研修制度にてイタリアへ留学。16年『イル・トロヴァトーレ』マンリーコで二期会デビュー。17年二期会『トスカ』カヴァラドッシ、18年同『ノルマ』ポリオーネ、グランドオペラ共同制作『アイーダ』ラダメスで出演。19年には二期会『エロディアド』ジャン、グランドオペラ共同制作『カルメン』ドン・ホセ等フランス・オペラでも活躍。20年二期会『椿姫』アルフレード、21年東京・春・音楽祭『マクベス』マルコムと話題の公演への出演が続く。第84回日本音楽コンクール声楽部門第1位並びに岩谷賞(聴衆賞)、第8回静岡国際オペラコンクール三浦環特別賞受賞。新国立劇場では『ドン・カルロ』レルマ伯爵/王室の布告者、『さまよえるオランダ人』エリック、高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』ピンカートンに出演。二期会会員。

**【シャープレス】 近藤 圭****KONDO Kei 〈7月7日・9日・11日〉**

国立音楽大学卒業。同大学院を首席で修了。新国立劇場オペラ研修所第9期修了。ローム ミュージック ファンデーション奨学生として、ドイツ・ハンブルクに留学。沼尻竜典指揮トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ定期公演『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『フィガロの結婚』伯爵役で2年連続出演。小澤征爾指揮『子供と魔法』時計、二期会『ナクソス島のアリアドネ』ハレルキン、日生劇場『リア』フランス国王、『ラ・ボエーム』ショナール、東京芸術劇場『ドン・ジョヴァンニ』マゼット、グランドオペラ共同制作『カルメン』モラレス、小澤征爾音楽塾『カルメン』ダンカイロなどに出演している。新国立劇場には16年『魔笛』パパゲーノに急遽出演して本格的にデビューし同役出演を重ねるほか、『夏の夜の夢』ディミートリアス、『ドン・ジョヴァンニ』マゼット、『夢遊病の女』アレッシオなどに出演。25/26シーズン『ドン・ジョヴァンニ』マゼットに出演予定。二期会会員。

**【シャープレス】 大沼 徹****ONUMA Toru 〈7月8日・10日・12日〉**

東海大学教養学部芸術学科音楽学課程卒業、同大学院修了。二期会オペラ研修所第51期マスタークラス修了。修了時に最優秀賞及び川崎静子賞受賞。10年秋よりドイツ・マイセンへ留学。09年第14回日本モーツァルト音楽コンクール声楽部門第1位。第21回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。これまでに『サロメ』ヨハナーン、『オテロ』イアゴ、『魔笛』パパゲーノ、『ローエングリン』テルラumontなどに出演。新国立劇場では『沈黙』ヴァリニャーノ、『魔笛』弁者、『愛の妙薬』ベルコーレ、『フィデリオ』囚人2、『紫苑物語』平太、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ヘルマン・オルテル、高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』シャープレスなどに出演。国立音楽大学非常勤講師。二期会会員。

**【スズキ】 花房英里子****HANAFUSA Eriko 〈7月7日・9日・11日〉**

京都市立芸術大学首席卒業。同時に京都市長賞受賞。東京藝術大学大学院独唱専攻修了。飯塚新人音楽コンクール第1位。東京音楽コンクール第2位、聴衆賞。松方ホール音楽賞奨励賞受賞。コンサートでは、ベートーヴェン『第九』、ヴェルディ『レクイエム』、マーラー『復活』など、数多くアルトソロを務める。オペラでは、二期会ニューウェーブ・オペラ『アルチャーナ』ルッジェーロ、二期会本公演オペラ宮本亜門演出『蝶々夫人』スズキ、『ファルスタッフ』メグ、新国立劇場『魔笛』童子III、『サロメ』奴隷などに出演。新国立劇場『夏の夜の夢』オーベロンをはじめカヴァーとしても公演に携わる。25/26シーズン『椿姫』アンニーナに出演予定。新国立劇場合唱団メンバー。二期会会員。

**【スズキ】 但馬由香****TAJIMA Yuka 〈7月8日・10日・12日〉**

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。第31回飯塚新人音楽コンクール第1位。藤原歌劇団には『ラ・チェネントラ』ティーズベ、『椿姫』アンニーナ、『ランスへの旅』モデスティーナ、『セビリアの理髪師』ベルタ、『ノルマ』クロティルデ、『蝶々夫人』スズキ、『ファウスト』シーベルなどに出演、18年、24年『ラ・チェネントラ』ではタイトルロールのアンジェリーナに出演し好評を博す。その他ベートーヴェン「第九」ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」「戴冠ミサ」などの宗教曲のソリストやコンサートでも活躍している。新国立劇場では『夏の夜の夢』ハーミア、『蝶々夫人』スズキ、高校生のためのオペラ鑑賞教室『カルメン』メルセデス、同『蝶々夫人』スズキに出演。藤原歌劇団団員。マエストロウ音楽院講師。



■公演概要

タイトル	新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2025 「蝶々夫人」 全2幕＜イタリア語上演／日本語及び英語字幕付＞
スタッフ	指揮：城谷正博 演出：栗山民也 美術：島 次郎 衣裳：前田文子 照明：勝柴次朗 再演演出：澤田康子
キャスト	(7月7・9・11日) (7月8・10・12日) <蝶々夫人> 伊藤 晴 鈴木麻里子 <ピンカートン> 村上公太 城 宏憲 <シャープレス> 近藤 圭 大沼 徹 <スズキ> 花房英里子 但馬由香 <ゴロー> 糸賀修平 内山信吾 <ボンゾ> 三戸大久 斉木健詞 <ヤマドリ> 吉川健一 畠山 茂 <ケート> 佐藤路子 杉山由紀
合唱	新国立劇場合唱団
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
主 催	公益財団法人新国立劇場運営財団
助 成	公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
協 賛	ローム株式会社 損害保険ジャパン株式会社
日 程	2025年7月7日(月)13:00、8日(火)13:00、9日(水)13:00、 10日(木)13:00、11日(金)13:00、12日(土)13:00
会 場	新国立劇場オペラパレス (東京都渋谷区本町 1-1-1)
料 金(税込)	高校生以下:2,750 円 一般(大人):6,600 円
チケット発売	高校生以下発売日: 2025年 6月8日(日)10:00～ 【Web ボックスオフィス】 一人1枚 【電話／窓口】 一人4枚まで ※高校生以下を1名以上含む場合のみ、大人も同時購入可能(計4枚まで) 一般発売日(大人): 2025年 6月22日(日)10:00～ 高校生以下… 【Web ボックスオフィス】 一人1枚 【電話／窓口】 一人4枚まで ※高校生以下を1名以上含む場合のみ、大人も同時購入可能(計4枚まで) 大人のみ… 【Web ボックスオフィス／電話／窓口】 一人1枚
チケットのお求め・ お問い合わせ	新国立劇場ボックスオフィス TEL: 03-5352-9999 Web ボックスオフィス: https://nntt.pia.jp/ 公演詳細: https://www.nntt.jac.go.jp/opera/educational-madamabutterfly2025/